

市議会だより



発行 伊東市議会 議長 久保谷 廠司
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通) FAX38-6916

大室山



① NPO法人まちこん伊東

まちこん伊東っ子クラブ「子どもの森の学校」

毎月テーマを持って「森の環境を考える」活動を行い、
これからの自然環境について学んでいます。



② 松川周辺地区まちづくり推進協議会(愛称:まつまち会)

松川通りの交通量調査実施中!!

～松川・唐人川につながる人々の未来を考えよう～



③ 伊東小室桜を育てる会

大室高原チェリーロード整備事業の様子

育苗と植栽活動を通して、小室山を中心に伊東の
アイデンティティとして桜景観を育てています。



④ NPO法人宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会

江戸城石丁場遺跡を实地に学ぶ子供たち

江戸城石丁場遺跡は日本の貴重な歴史文化遺産です。

伊東市を支える協働の
カ
その3

表紙は「いとろ」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

活動団体の問い合わせは

- | | | |
|------|--------------------|--------|
| 主な内容 | ○6月定例会の概要…………… | 【P.2】 |
| | ○一般質問(8議員が登壇)…………… | 【P.3】 |
| | ○常任委員会だより…………… | 【P.11】 |
| | ○特別委員会中間報告…………… | 【P.12】 |

- ① NPO法人まちこん伊東
事務局長(田畑みなお) → TEL090-2777-9345
- ② 松川周辺地区まちづくり推進協議会(愛称:まつまち会)
伊東市都市計画課 → TEL 32-1782
- ③ 伊東小室桜を育てる会
会長(萩原直義) → TEL 45-0321
- ④ NPO法人宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会
事務局長(森 篤) → TEL 48-9534

平成22年6月定例会

15件の議案等を審議、可決、承認



6月定例会を6月15日から6月25日までの11日間の会期で開会しました。

市議会6月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部改正に伴う改正について専決処分を行ったことの報告承認（市条例 平成22年3月31日公布、平成22年4月1日施行）	市長	全会一致で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部改正に伴う改正について専決処分を行ったことの報告承認（市条例 平成22年3月31日公布、平成22年4月1日施行）	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部改正に伴う改正について専決処分を行ったことの報告承認（市条例 平成22年3月31日公布、平成22年4月1日施行）	市長	全会一致で承認
市認第4号	平成22年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第1号）専決処分の報告承認について	平成22年度の歳入からの4億5,113万9,000円の繰上充用に係る専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	平成21年度伊東市一般会計予算繰越し報告について	平成21年度予算の一部（地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業6事業を初めとした14事業：3億6,723万8,000円）を平成22年度に繰り越したことの報告	市長	（報告、質疑のみ）
市報第2号	平成21年度伊東市下水道事業特別会計予算繰越し報告について	平成21年度予算の一部（管きょポンプ場建設事業、管きょポンプ場改築事業、処理場改築事業の3事業：7,940万円）を平成22年度に繰り越したことの報告	市長	（報告、質疑のみ）
市議第1号	伊東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に伴う地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正により、職員以外の親などが養育できる場合は認められなかった育児休業について両親に認める等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第2号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	個人市民税に関し、扶養控除の見直しにより給与所得者及び公的年金等受給者について扶養親族申告書を市長に提出しなければならないとすること等の条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、先物取引に係る所得が雑所得に分離されることによる条例改正	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第4号	伊東市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	平成22年7月から診療科目に皮膚科を加え、12診療科とするための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第5号	静岡地方税滞納整理機構を組織する地方公共団体の数の減少について	平成22年3月23日に富士郡芝川町が富士宮市に、浜名郡新居町が湖西市に編入合併したことに伴い、広域連合を組織する地方公共団体の数が減少していることについての協議	市長	全会一致で可決
市議第6号	静岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について		市長	全会一致で可決
市議第7号	伊東市消防本部普通消防ポンプ自動車購入契約の締結について	契約金額：2,940万円 契約の相手方：株式会社モリタ東京営業部	市長	全会一致で可決
市議第8号	平成22年度伊東市一般会計補正予算（第1号）	県の緊急雇用創出事業臨時特例対策事業費補助金によるふるさと・緊急雇用対策事業や財政調整基金の取り崩しによる緊急経済雇用対策事業など、歳入歳出に1億4,842万1,000円の追加	市長	全会一致で可決
発議第1号	ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチンなど、小児細菌性髄膜炎の公費による定期予防接種化を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 6名	全会一致で可決

本会議で
 行われた討論
 概要

 伊東市税賦課徴収条例の
 一部を改正する条例

 《反対》日本共産党

本条例改正は、扶養控除の廃止を「子ども手当」と「高校生の授業料無償化」の財源に充てる考え方に基づくものである。扶養控除が廃止されると、子ども手当の恩恵がなくなる場合があること、私立高校の授業料は無償にならず、損失だけをこつむる方が多く生まれることなどから、別の財源を確保すべきである。

また、非課税口座内の少額上場株式等配当所得及び譲渡所得等の非課税措置の創設は、株に投資できる余裕資金を持つ人々への優遇措置である。国民を一層犠牲にする消費税増税が急浮上しているとき、到底賛成できない。

一地方自治体の裁量で変え得るものでないことは承知するが、市税の基本にかかわる地方税法の考え方として賛成できず、反対する。

一 般 質 問

8 議員が登壇／市政全般について質問

(登壇順に掲載)

新市民病院を伊豆半島東海岸の基幹的病院として、どのように特徴づけるのか



民主党・刷新の会
 伊東良平 議員

新伊東市民病院は、伊豆半島東海岸の基幹的病院と位置づけられているが、災害時の救急対応等、他の病院とは異なる特徴を持たせることが必要と考える。本市の人口規模では、採算を確保することは困難であり、近隣市町や県外から「訪ねてくる病院」にしていかなければ、将来的に生き残ることができないように思う。

以前は、伊東温泉病院の名称で広く親しまれ、温泉療養という特徴があった。健康保養都市を標榜する本市にとって、温泉を新病院に活用し、特徴ある病院とすることは非常に重要であると考え、いかがか。

市 議 会 だ よ り

伊豆半島東海岸の中核的な医療機能を有する病院として

市長

温泉プールを利用したりハビリテーションについては、利用者も少なく、薬物治療の進歩により、今後、利用者の増加が見込めないこと、利用者の負担増になる料金設定ができないことや混合診療としても認められないことから、経営面での不安要素にもなっている。このことから、新病院建設諮問会議の意見も踏まえ、実施設計の段階でプールの設置は見送ることとした。

新病院については、市民の求める急性期医療、救急医療、災害時医療等に対応できる、伊豆半島東海岸の中核的な医療機能を有する病院として整備することにより、近隣市町の患者にも選ばれる病院として、将来にわたって安定した経営がなされるものと考えている。

『その他の質問項目』
観光都市伊東の観光施策



建設計画が進む新市民病院

の現状を見て、以下何う
・観光の目玉として、何に重点を置き、事業展開をしていくのか
・現在のイベント等の検証及び見直しについて
・競輪事業の経営改善等について、以下何う
・国の行政刷新会議においてJKAへの交付金のあり方等が検討されたが、実施の場合、本市競輪事業の経営改善ほどの程度進むのか
・競輪場施設の借上料が経営を困難にしている
・と考えるが、競輪場施設を買い取る検討をする余地はあるか
・臨時職員が開催執務副委員長を務めているが、責任面からいかがか

休航中の東海汽船「伊東 大島航路」の今後の見通しについて何う



正風・興志会
土屋 進 議員

新高速船ジェットフォイル接岸が不可能であるとして、平成一七年四月から休航中となっていた東海汽船「伊東 大島航路」については、平成二一年九月に伊東港観光棧橋の完成に伴い、伊豆大島橋まつりに合わせ、平成二二年二月六日から三月二二日までの期間限定で再開された。

再開初日には、伊東港出航に当たり記念セレモニーを行い、再開の第一歩がスタートしたが、その後は休航となっている。

平成二二年九月までの運航日程に伊東は入っていないため、市民からは今後を心配する声がある。

これまでの市長のご努力は高く評価するが、再開期

間中も、伊東の観光振興への寄与など一定の成果があり、通年運航が期待されていることから、今後の見通しについて何う。

期間限定の再航の見込みとなったが、大島町等と連携し、通年運航について要望していく

市長

約五年ぶりに再開された大島航路では、伊東市民号の運航などにより期間中七一〇二人の市民、観光客の利用があり、好評を得たところである。その後については、乗船客の見込みが不確定なことから、運航が途絶えていたが、東海汽船社長や運航関係者に対し、本市における大島航路の重要性等を再三説明し、再開を強く要望してきたことで、平成二二年一〇月から平成二三年一月までの土・日曜日等の休日に往復一便の運航が再開される見込みとなつたところである。

今後、エーゼントと協力し、大島航路を多くの



運航再開が待たれる伊東 - 大島航路

市民、観光客に利用していただくため、伊豆大島橋まつり以外の期間の日帰りや宿泊パック旅行の実施などの誘客対策を進め、大島町や観光関連業者と連携しながら引き続き要望していきたい。

『その他の質問項目』
第六四回按針祭における「按針パレード」について
伊東八景「夕吹公園」夕吹岩へのプロムナードの早期整備について
市道一碧湖・大室線の歩道整備について
東郷元帥旧別荘である「東郷記念館」の今後の保存、活用について

市 議 会 だ よ り

住宅リフォーム補助金のさらなる充実について



日本共産党
大島春之 議員

全国的な不況の中、地元業者に発注することを条件に、建設費の五%、または五〇万円を限度に祝金を送る持家住宅祝金制度を創設し、三〇倍の経済効果を生み出している町や、工場の家賃補助や機械リース代の補助など、業者に直接援助する施策を打ち出している自治体もあり、本市においても、昨年度に引き続き、緊急経済対策に係る補正予算が組まれたことは、大変喜ばしいことである。

住宅リフォーム振興事業は、昨年度、当初予算の一〇〇〇万円に加え、五〇〇万円の増額補正をしたことで、二億四八三〇万円の仕事を市内業者につくり出すことができ、その経済効果は顕著であったが、今年度は

の申し込みについては、二日間で予定額に達し、締め切り後の問い合わせも数多くあったと聞き及んでいる。この状況にかんがみ、また、業者の仕事起こしのためにも、本年度においても補正により予算を増額すべきであると考え、いかがか。

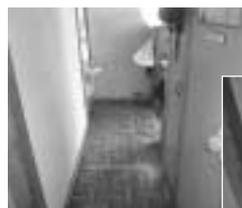
申し込み開始を早める等、実情に応じた切れ目のない経済対策を実施していく

市長

住宅リフォーム振興事業は、昨年度、助成額に対して一七倍以上の金額の工事が市内業者により施工されていることから、市内建築関連業者の振興と経済対策につながるというものと認識している。

今年度も、五月二〇日に一次募集を開始したところ、初日で助成予定額にほぼ達するなど、予想を上回る申し込みがあり、市内建築業者の受注拡大につながったものと考えている。

これから二次募集を行う



リフォーム前



リフォーム後

が、多くの申し込みが予測されることから、申し込み開始時期を前寄せるなど、商工会議所と協議し、実情に即した、切れ目のない経済対策を実施していく。

『その他の質問項目』

市内活性化のための施策について

- ・ 中小企業経済変動対策資金貸付金等の受給要件の緩和について
- ・ 低入札を防ぐための施策について

市職員的大幅減員により過重労働はないのか

待機者増となっている特別養護老人ホームの増設について



民主党・刷新の会
浅田良弘 議員

本市における関東波（東京波）への視聴環境の激変が危惧されるが、現状における市長としての所見を伺う

伊豆東海岸に位置する本市は、首都圏に近いことから、経済的生活環境において密接した関係を有するとともに、テレビ放送が始まった当初から、静岡県の放送局が開局してもなお、首都圏の電波を受信し、放送を視聴してきた。

地上デジタル放送への移行に伴い、本市における関東波（東京波）への視聴環境が激変することが危惧される中、関東波が視聴できなくなることに市民の不安は顕著にあらわれている。

また、本市は関東圏からの観光客が多く、視聴環境の激変が、基幹である観光産業に影響を与え、ひいては地域経済へ多大な影響を

及ぼすものと危惧している。総務省の地デジHPには、「現代の生活の中で最も身近なテレビもデジタル化によって、今までにない、豊かで、便利な新しい世界を実現します」と掲載されており、これを、私なりに解釈すると、我々地域の視聴者は、これまでの視聴環境のもとに、地域利益が確保され、その上で、「今までにない、豊かで、便利な新しい世界が実現されることを市民は願っている」と言いかえることができる。

市長がこれまで、民放連、在京キー局に対し、異議申し立てをしていることは聞いていますが、現状における市長としての所見を伺う。

総務副大臣の前向きな発言を受け、今後に期待する

市長

私は、本市の置かれているテレビ受信の状況、テレビ放送開始から関東波を受信している歴史的背景、日常的に経済・文化活動が関東圏の中で行われているこ



2011年7月地デジ化完了

となどについて、本市を管轄する総務省東海総合通信局や放送会社に対し、機会あるごとに説明してきた。

また、地上デジタル化は国の制度に基づき実施する国の事業であり、所管である渡辺総務副大臣からも大臣裁定に前向きな発言があったことから、今後に期待をしているところである。

『その他の質問項目』

地上デジタル放送完全移行に伴う本市の対応
障がい者雇用に関する、市長部局及び教育委員会における法定雇用率、雇用状況について伺う、また、各事業所における障がい者雇用に係る経費に對する助成について伺う
中学校給食実施のあり方

問題行動が多発する中学校における生徒指導のあり方について伺う



清峰クラブ 榎本元彦 議員

自分の子供が勉強やスポーツに没頭し、安心して充実した中学校生活を送ってほしいと、親なら誰しもが願うことである。

現代の子供たちは、時代の変化に柔軟に対応しながら健やかに育っているが、経済不況の影響を受け、保護者が子育てに対して手をかけられなくなってきたこと、ゆとり教育の見直しなどによる時間的な余裕が少なくなっていることなどが原因で、教育の場において当たり前なことができなくなるなど、中学校教育そのものが少しずつ悪い方向へ進んでいるように感じられる。
このような状況を少しでも改善すべきであると、入

学を控えた児童の保護者、在学中の生徒の保護者、卒業生、そして、何よりも生徒たち自身が強く望んでいるはずである。

次世代の本市を担う中学生が、友と仲良く青春を過ごし、安心して中学校に通えるよう現状を改善すべく、問題行動が多発する市内中学校における今後の生徒指導について伺う。

状況を把握し、収束を図っていく

教育長

学校内において、授業放棄や器物破損、生徒間暴力などの問題行動があるが、その都度、その行為に対して、生徒たちの「善悪の判断」、「自制心」が育ってくることがを願い、校長初め職員一体となって粘り強く指導をしている。しかし、生徒たちが安心して学ぶ環境を確保することが第一であるべき学校において、一部の生徒とはいえ、それを乱す行為は許されるものではない。



オープンスクールを実施している南中学校

問題行動の多発をきっかけにして、南中学校においては六月三日からオープンスクールを実施し、保護者や地域の方々に学校公開をしているところである。
今後、教育委員会としては、状況を把握する中、学校と連携を図り、PTA、保護者、地域の方々にもご協力をいただき、その収束を図っていく。

『その他の質問項目』

総合防災訓練に際し、地域において実施が求められる活動について伺う
開設六〇周年記念競輪開催に向け、収益確保の面から、本場への誘客を図る取り組みについて伺う

子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成について



公明党 楠田一男 議員

子宮頸がんは、女性特有の病気であり、年間約一五〇〇〇人の方が罹患し、そのうち二三パーセントの約三五〇〇人が死亡している。また、近年、若い女性の罹患者がふえ、死亡率が高いことから、深刻な問題となっている。

しかし、子宮頸がんは、定期検診のほか、唯一予防接種により防ぐことができるが、接種することが判明しており、公明党は、二〇〇七年一〇月、浜四津敏子代表代行が国会で初めて子宮頸がんワクチンの早期承認を訴え、署名運動などを続けた結果、二〇〇九年一〇月に異例の早さでワクチンが承認され、同年一二月から販売が始まった。
しかしながら、子宮頸が

市 議 会 だ よ り

ん予防ワクチン接種は三回必要とされ、計五万円程度と高額の費用を要するため、思うように接種が進んでいないのが現状であり、このところ、独自に公費助成を行う自治体がふえている。

公明党は、国の責任で予防措置を進めるため、ワクチン接種と定期的な検診を公費で行う「子宮頸がん予防措置の実施の推進に関する法律案」を立案し、参議院に提出した。

この法案は、ワクチン接種の効果の高い特定年齢（一二歳等）に一斉に接種することを市区町村の努力義務とし、費用は全額国が補助するとともに、一定の年齢（三〇歳から六五歳まで五歳ごと）の検診費用を国が全額補助するものである。

公明党としては、同法律案の早期成立へ邁進する決意であるが、それまでの間、本市においても公費助成を導入されるよう、切に願うものであるが、市長の考えを伺う。

二三年度実施に向けて検討していく

市長

子宮頸がんは若年化の傾向にあり、唯一予防できるがんということで、ワクチン接種の重要性は認識しているが、半年間で三回の接種が必要であり、接種費用も高額であるため、国においても公費負担へ向けての動きが活発化している。

本市においても、国の実施方法等を見定める中で、平成二三年度実施に向けて検討していく。

『その他の質問項目』
高齢ドライバーの運転免許証自主返納支援策



国内初の子宮頸がん予防ワクチン集団接種（栃木県大田原市）

中学生を中心とした子供たちの問題行動の原因と対策について



日本共産党
重岡 秀子 議員

市内の中学校の生徒による器物破損、暴力行為などが大きな問題となっており、不登校も含めて、同じような事態は全国に広がっている。その根本的な原因は、国の教育政策にあり、経済競争に打ち勝つための能力開発に教育の重点が置かれ、しかも、どの子も賢く育てようという考えがないことにあると考える。そして、教師たちは、人数も諸外国に比べて少なく、崖っぷちの労働環境にある。

また、家庭も、子供を学力という一面だけで見がちであり、不況が家庭崩壊に拍車をかけている。こうした中で、子供たちは安心して暮らせる場を失い、自分に自信を失いがちである。

特に、授業についていけない子がふえていることも「荒れ」の原因であり、どの子にも力をつける対策が、まず必要ではないか。また、子供に寄り添うためのゆとりをつくるために養護教諭などの増員も必要であり、さらに、子供、教師、家庭を支える力として、地域、PTA、ボランティアなどの協力も重要と考えるが、いかがか。

授業の工夫やゆとりのある学習の推進、養護教諭の複数配置の要望などとあわせ、地域社会全体で取り組む

教育長

学習における基礎・基本の定着、思いやりなどの心の教育、家庭での基本的な生活習慣など成長段階においてつけるべき力を、家庭・学校・地域、それぞれの場で着実に身につけていくことが大切であると考える。

学校においては、新学習指導要領の本格実施に向け、より充実した教育ができるよう教員増を期待すると

もに、授業の工夫に取り組む、ゆとりを持った学習の推進に努める。

養護教諭については、近年子供たちのメンタル面のケアが多くなっており、一人での対応は困難となっていることから、県に対し複数配置を要望していく。

地域においては、地域の方々と学校が連携、協力を図る中で、問題解決に向けた取り組みを行っており、「地域の子は地域で育てる」という取り組みを一層推進していく。

『その他の質問項目』
景観計画の策定に当たり基本的な考えを伺う



保健室は心身のケアの場

地域包括支援センターを五力所とし、さらに、本部機能を備えた拠点施設整備を行ってはどうか



清峰クラブ
佐々木 清 議員

介護保険事業の中核を担う「地域包括支援センター」は、市内に四力所設置されているが、人手不足などから、消極的な運営に終始しており、厚生労働省が意図する、地域に密着したサービスの提供を目指すという方向性からは、少々見劣りするよう感じられる。このため、中学校区を基準に五力所とするともに、総合的な見直しも必要であると考えているが、いかがか。

また、高齢者の増加に伴い、多様な対応が必要となることが予想されることから、総合相談窓口の設置等、総合センターとしての本部機能を備えた拠点整備を行うてはどうか。

介護保険運営協議会等に諮る中で、五力所設置に向け、努力していきたい

市長

介護認定者が増加する中、地域包括支援センターの果たす役割は大変重要と認識しており、今後、介護保険運営協議会等に諮る中で、五力所設置に向け、努力していきたいと考えている。

また、前身である在宅介護支援センターには、本部機能を有する基幹型センターを設置していたが、平成一八年度の制度改正により創設された地域包括支援センターは、自己完結機能を有することから、本部機能を備える機能は必要ないと考えており、それぞれ連携し、質の向上を図りたいと考えている。

『その他の質問項目』

介護保険事業について

・行政刷新会議における介護施設の整備目標撤廃を受け、今後の取り組みについて

定住人口増加策に係るプ

ロジェクトチームの創設について

観光戦略に歴史・文化を取り入れた、源頼朝にゆかりのある音無の森周辺整備事業の立ち上げ、観光スポットとして太鼓橋の設置について

青少年が夢と希望を描けるような幅の広い教育の実践について

・三浦按針の足跡を英語や歴史の教材に取り入れてはいかがか

・障がい者等の施設訪問に関する、教師を対象とした講習会について

・ポイスカウト等による、教育現場での子供の体験不足を補う支援策について



伊東地域包括支援センター

全国

市議会議長会 議員表彰

去る五月二六日、全国市議会議長会定期総会において永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会において、その伝達を行いました。

一五年以上勤続

三枝 誠次 議員

一〇年以上勤続

土屋 進 議員
久保谷 廠司 議員

特別委員会

副委員長互選

四月六日

議会改革特別委員会において、竹田昭直議員の逝去に伴い空席となっておりました副委員長に四宮和彦委員を互選しました。

寄附行為や あいさつ状の 禁止について



市内において、議員が次の行為を行うことは、公職選挙法で禁止されています。市民の皆様には、ご理解、ご協力いただきますよう、お願いいたします。

答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞状、年賀状などの時候のあいさつ状（電報なども含まれる。）は出してはならない。

暑中見舞、年賀など、時候のあいさつを目的とした有料広告（新聞、雑誌、パンフレット等）は出してはならない。

政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、いかなる名義をもつても、寄附をしてはならない。



研修を受ける議員

議員 研修会

六月九日、市役所三階第二委員会室において議員研修会を開催しました。
講師は、四〇年にわたり全国都道府県議会議長会に勤務され、その後も、全国の地方議会を訪問され、議会運営に係る指導、助言に当たられております野村稔氏にお願いいたしました。

現在、一期目の議員が三分の一以上を占め、世代交代が進んでいることから、地方議会の役割、議員の職務、本会議や委員会の運営などに係る基本的事項について改めて確認をし、議員全員共通の認識に立つ上での貴重なお話を伺い、今後とも、市民福祉の向上に責任を持つ議員としての活動に資するために開催されました。

(具体的な内容)

- ・ 議会と市長は車の両輪に例えられるが、市長に比べ議会、議員の活動は、市民に周知されにくいいため、PRに工夫が必要である。
- ・ 論議の成果を示すため、議会の政策提起として付帯決議を積極的に活用すべきである。



講師の野村 稔氏



神社仏閣線路上側コース散策中(宇佐美)

閉会中の議会活動

平成22年3月定例会閉会后6月定例会開会まで

22年4月	6日	議会改革特別委員会
	8日	議会報編集委員会
	15日	医療問題特別委員会懇談会 (伊東市民病院スタッフ)
	19日	常任観光建設委員会懇談会 (伊東観光協会、伊東温泉旅館ホテル協同組合)
22年5月	7日	常任総務委員会協議会
	12日	議会改革特別委員会
	13日	常任福祉文教委員会協議会

22年5月	17日	常任観光建設委員会協議会
	17日	伊東自然歴史案内人会宇佐美部会による神社 仏閣線路上側コースめぐり参加 (常任観光建設委員を中心とする議員希望者)
	21日	医療問題特別委員会
22年6月	3日	医療問題特別委員会懇談会 (伊東市医師会)
	9日	議会運営委員会
	9日	議員研修会

全員協議会

六月二十五日、六月定例会閉会后に全員協議会を開会し、当局から次の報告がされました。

伊東市土地開発公社経営状況について

平成二二年度事業・決算報告

平成二二年度事業・資金計画及び予算

市議会図書室のご案内

市議会図書室には、昭和三四年以降の市議会会議録を初め、官報、県公報、議会や行政に関する一般図書等、約一〇〇〇冊を所蔵しています。

市議会図書室は、市民の皆さんもご利用いただくことができますので、希望される方は、気軽に議会事務局までお越しください。

なお、所蔵図書一覧については、ホームページをご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。



かがやく富戸っ子27人(富戸小3年生・本会議場)

議 場

六月二十九日、富戸小学校三年生(二十七人)が、社会科学習の一環として議場見学に訪れました。

議場設備や市役所の組織などについて、本会議さながらの生き生きとした質問がたくさん飛び出しました。

見 学

六月三十日、平成二二年度伊東市政モニターの皆さん(七人中五人)が、市の施設見学の 일환として議場を見学されました。

議場設備、議会運営のほか、各常任委員会の傍聴についても関心を示されました。



説明を受ける市政モニター(委員会室)

議会を傍聴してみませんか？

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょうか。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができますので、希望される方は、議会事務局(市役所低層棟三階)までお気軽にお越しください。

なお、団体での傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局にご連絡ください。平成二二年六月定例会の傍聴者は一八人でした。



傍聴席から見た本会議の様子

総務委員会

問

緊急経済雇用対策事業に係る小規模修繕等について、どのような仕事を何件予定しているのか伺う。

答

土木関係46件、造園関係4件、建築関係25件、塗装関係11件、設備関係28件の計114件を予定し、各担当課において、小規模修繕業者として登録をしている業者等による見積もり合わせを行う。



緊急経済雇用対策事業により市内経済への効果が期待される

問

子ども手当の創設及び高校無償化に伴う扶養控除の廃止の内容について伺う。

答

16歳未満に係る年少扶養控除33万円を廃止するとともに、16歳以上19歳未満の高校無償

化対象の年代については、通学している、していないにかかわらず、また、公立校、私立校にかかわらず、上乗せ部分の控除12万円を廃止する。

問

防災車が更新されるが、廃止される公用車の処理について伺う。

答

まだ利用価値のある車両については、見積もり合わせにより引き取り先を決定しているが、今回は、年式も古く、故障も多いことから、下取りとした。

常任委員会だより

～ 常任委員会審査の中から～

- ◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
- ◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

福祉文教委員会

問

今回、市民病院に皮膚科が開設されるが、新病院開院に際し17診療科標榜を目指す中での優先順位を伺う。

答

現状ではどの科を優先するというのではなく、医師の確保ができ、外来の診療体制を構築することができるものについては、新病院開院を待たずに、現病院において随時標榜し、開設でき

るようにしていきたい。



皮膚科が新設された市民病院

問

教育指導員の専門性や資格等について伺う。

答

学校教育の現状を理解し、業務に意欲的に取り組む人を対象にしている。今後は、幅広い分

野から人選していくとともに、在宅において柔軟な対応ができるような体制をとっていきたい。

問

主任児童員業務とのかかわり合いについて伺う。

答

主任児童員の方には子供や学校のためにご支援をいただいていることから、今までの活動を大切にしていくこととするが、教育指導員の役割等のあり方については、今後、検討する必要がある。

特別委員会中間報告



議会改革特別委員会

「議会インターネット
中継」等について協議

四月六日、五月二日に委員会を開催し、議会インターネット中継について、県内の状況や、本市で導入した際の経費に係る調査結果を踏まえ、前回に引き続き、協議を行った。

委員から、市の財政状況を考慮すると、費用対効果等の面から、なお検討を要するとの意見、議会を中継している地元のケーブルテレビ会社にも配慮した方法も検討すべきであるとの意見、低コストとされる動画投稿サイトの利用は危険が伴うことから、議会としてふさわしい方法で実施すべきであるとの意見など、導入に慎重な意見があった。

一方、情報公開の観点から、優先順位が非常に高いものであるとして実施すべ

しとの意見や、議会に対する判断材料として、議会情報を広く提供することに努力すべきであるなど、導入に積極的な意見があった。

これら意見等を踏まえ、今後引き続き協議していくことが確認されたほか、採決における議員個々の各議案に対する賛否の公表については実施しないことなどが確認された。

医療問題特別委員会

五月二日 委員会
新病院建設実施設計に関し、各フロアの配置等の説明に続き、工事費について、本体工事は減額、外溝工事は増額となり、総額では基本設計と比べ約三〇〇〇万円の減額にとどまったとの報告、今後の予定として、各種申請の許可後、入札を経て一〇月には着工したい

等の報告を受けた。

委員から、リハビリプール廃止に係る協議の経過、現病院の活用方法に関し考えが問われ、プールは慢性期医療的な施設であり、急性期医療を担う市民病院の位置づけ、費用対効果等を勘案し廃止するとの判断に至ったとの説明、現病院の活用には耐震化等多額の経費を要することが大きな課題であるが、温泉を利用した健康増進的機能を備えたものにしていきたいとの答弁がされた。このほか、市内の業者が極力入札に参加できる方法が要望された。



医師会との懇談会

四月一五日 懇談会
病院スタッフとの懇談会
六月三日 懇談会
伊東市医師会との懇談会

9月定例会の予定

2日	本会議（市長決算概要説明）
9・10日	代表質問
13日	一般質問
14日	一般質問・議案審議
15日	議案審議
16・17日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
21・22日	常任総務委員会
29日	本会議（最終日）

8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

編集後記

ことしも夏がやってきました。伊東っ子の夏と言えば、なんととっても按針祭。年も忘れて、心が躍ります。さて、本号では議員研修について取り上げましたが、その研修の中で、議会報の紙面づくりについてのお話もありました。

これを受け、市議会の活動が市民の皆様にもっと伝わり、関心を持っていただけるような紙面づくりに努めていきます。（委員長）

議会報編集委員会

委員長	重岡 秀子
副委員長	稲葉 富士憲
委員	西宮 和彦
委員	榎本 元彦
委員	楠田 一男

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一
TEL(三三)一九八一
FAX(三八)六九一六